

令和3年（2021）

■ 9月1日（水）

8月後半も相変わらずの暑い日々が続きましたが、次第に灼熱の度合いが和らいできたように感じます。晩夏から初秋へ。調査が進むとともに、季節も確実に移ろいつつあります。

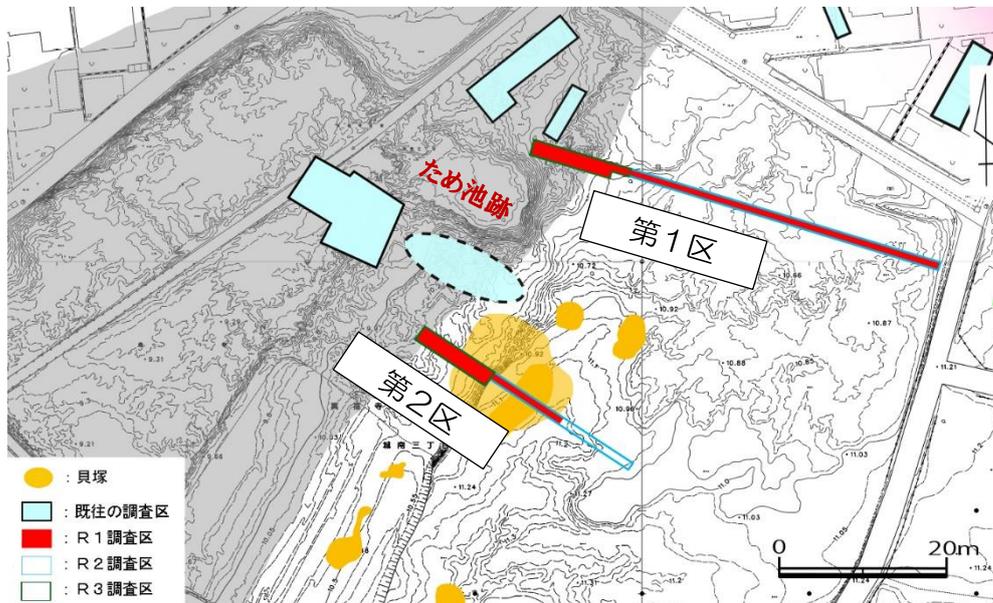


図1 調査区の位置

① 第1区（北側の調査区）の調査

調査区西側のローム質の黄褐色土層の掘り下げを継続しています。

このローム質の黄褐色土は、遺物が比較的少ない黄褐色土と遺物を多く含んだ暗褐色土が交互に堆積していました。

層序は上から、1a層：黄褐色土（写真1・2）→ 1b層：暗褐色土（写真3・4）→ 1c層：黄褐色土（写真5）→ 2a層：暗褐色土（写真6・7）となっています。

1b層は晩期中葉安行 3b 式を主体としていました。



写真1 1 a層（江戸時代頃の掘り込みの調査を終えた状態）



写真2 1 a層の遺物出土状態



写真3 1b層の遺物出土状態



写真4 1b層から出土した完形の皿形土器



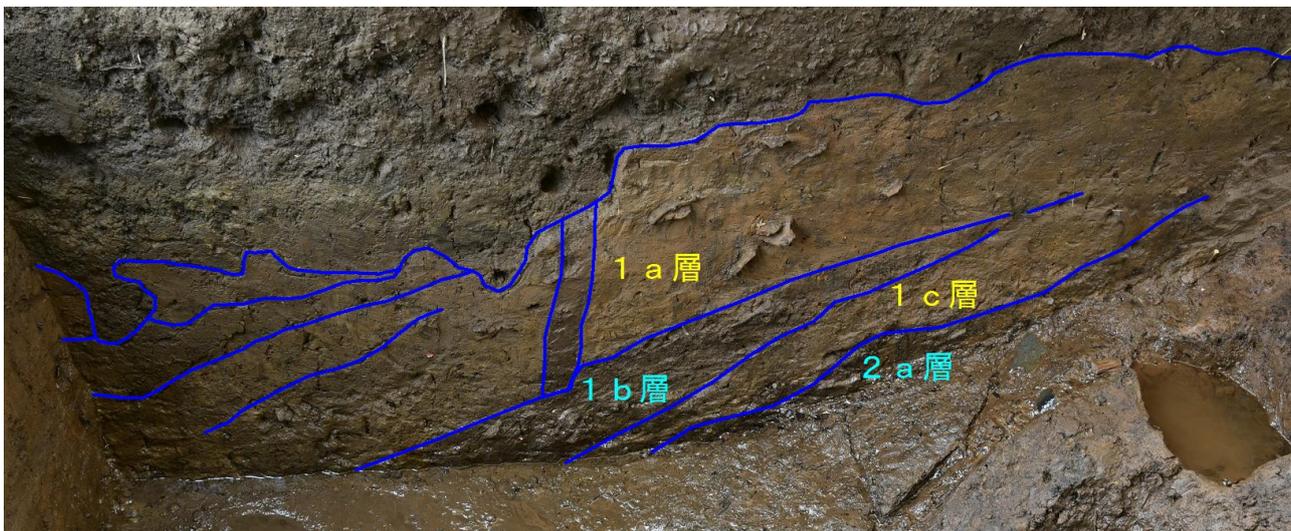
写真5 1c層



写真6 2a層の遺物出土状態



写真7 2a層～2b層



層の境の線は目安です

写真8 累積する層